

CREATING THE HARMONY
FOR FUTURE



**CORPORATE SOCIAL
RESPONSIBILITY**

REPORT 2017

目次

CSR レポートの発刊にあたって	4
会社概要 & 会社方針	5
1. 大東化成グループ概要	6
1.1. 事業内容	6
1.2. 組織	6
1.3. 2017 重点項目	7
2. CSR コミットメント	7
2.1. 当社の CSR 方針	7
2.2. 第三者による評価	8
3. ガバナンス & 倫理	9
3.1. CSR 委員会	9
3.2. 倫理綱領	10
3.3. 品質管理システム	10
3.4. 所属団体	10
3.5. ステークホルダー	10
顧客対応	11
1. 企業理念	12
2. 製品の安全性	12
3. 顧客満足度	13
職場環境	14
1. 健康と安全	15
2. 社員教育	15
3. 福利厚生	15
環境	17
1. 環境負荷の軽減	18
1.1. 100% 再生可能電力	18
1.2. サプライチェーンマネジメント	18
1.3. 従業員の保全活動	19
2. 持続可能な原材料	19
2.1. 持続可能なパーム油	19
2.2. 備長炭: 持続可能な炭生産への支援、および伝統的な知識の保存	21
2.3. 有機認証商品	24
コミュニティ	25
1. 私たちの走る意味	26
2. 連帯の日	26
3. 連帯活動	26

4. 共同購入.....	27
5. 寄付.....	27
2018年行動計画.....	28

CSR レポートの発刊にあたって



この第3回 CSR レポートを通じて、2017年度の大東化成グループのCSRの取り組みをご報告させていただけることを嬉しく思っています。

このレポートでは、弊社におけるCSR方針及び概要、CSRに関する具体的な取り組みをいくつかご紹介させていただきます。

経済成長と環境の持続可能性は、ますますその関わりが重要になっていっています。

私たちはCSRに対する真摯な取り組みが、会社の存続と長期的な成長を維持する要になると確信しています。

私たちの決定はすべて、経済的、環境的、社会的側面を考慮しなければなりません。

初期評価と分析の後、私たちはCSRへの取り組みを見直し、どのような行動を実施できるかを検討しました。

私たちは、次の持続可能な開発目標の達成に尽力してまいります：

- 健康と福利（目標 3）
- 責任ある消費と生産（目標 12）
- 気候変動対策（目標 No.13）
- 地球上の生命（目標 No.15）

私たちはCSRへのコミットメントと持続可能なビジネスにおける取り組みを通して、良い世界を実現するために貢献することを誓います。

代表取締役社長 脇 祥哲



PROFILE & STRATEGY

1. 大東化成グループ概要

1.1. 事業内容

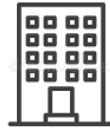
大東化成工業は、1950年に大阪で設立された日本の民間企業です。

私たちは、表面処理粉体と化粧品の特種原料を製造・販売しています。

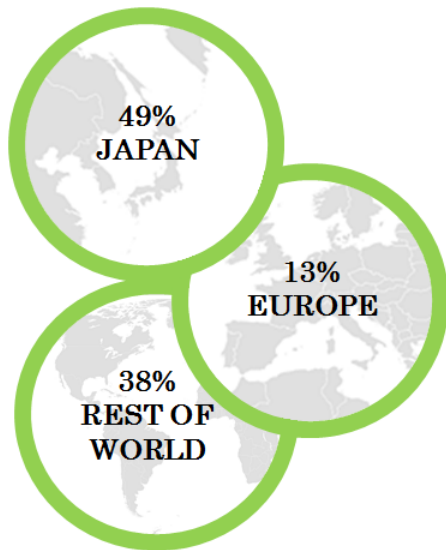
私たちのお客様は、小規模メーカー様から世界的な多国籍企業まで多岐にわたります。



6 つの製造拠点
(日本及びフランス)



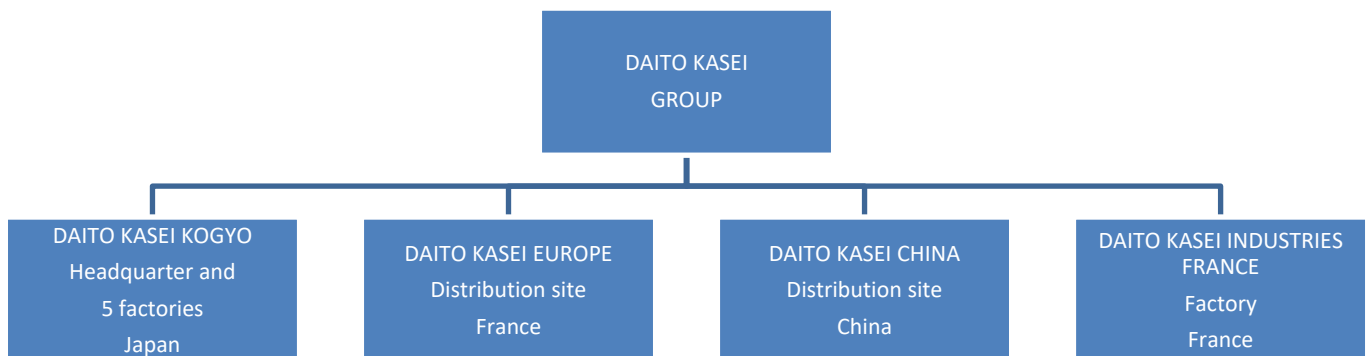
2 つの販売子会社
(中国及びフランス)



日本は大東化成グループの売上の約半数を占めており、ヨーロッパは2番目に売上の大きなエリアとなります。

販売、流通、製造の各事業を通じて、私たちは世界 **50カ国**以上で事業を展開しています。

1.2. 組織



1.3. 2017 重点項目



> 200 従業員数

3M\$ 研究開発費用

>20 研究関連業務従事者



>200 世界におけるサプライヤー数

2. CSR コミットメント

“Creating the harmony for future”

大東化成グループは、持続可能な将来の発展のため、環境の面で、人と社会により緊密に協力することを約束します。

私たちは、国内および国際的な法律および規制を遵守して、誠実な事業活動を行います。

私たちの会社はすべてのステークホルダーのために、公正かつオープンであるように管理しています。

2.1. 当社の CSR 方針

私たちの CSR 活動は、環境、従業員、顧客という 3 つの分野に焦点を当てています。各エリアについて、以下の優先順位を設定しています：

➤ 環境

- エネルギーと二酸化炭素排出量
- 水管理
- 廃棄物管理

➤ 従業員

- 健康と安全
- 福利厚生
- ロイヤリティ

➤ 顧客

- サービス
- 品質
- イノベーション

2.2. 第三者による評価

サステナビリティ分野における当社の業績は、第三者および当社の顧客によって評価されています。私たちは、受け取ったフィードバックに基づいて業務を発展させるよう努めています。



2017年2月、私たちはグローバルサプライチェーンのサステナビリティ評価を提供する最初の共同プラットフォームをもつ第三者機関「EcoVadis」より「ゴールドレベル」の認証を受けました。

前回2015年の「シルバーレベル」から「ゴールドレベル」へと評価を上げていただくことができました。

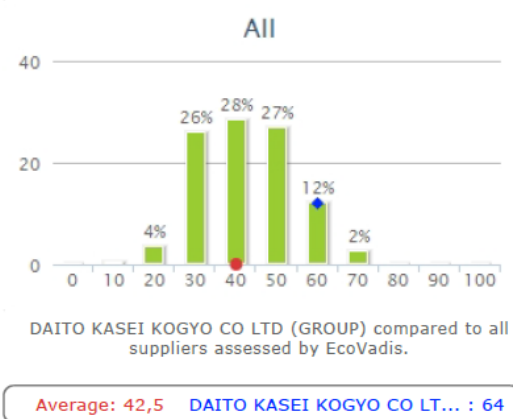
評価は、環境、公正な労働慣行、倫理/公正な事業慣行、およびサプライチェーンを含む4つのテーマ、21の基準で構成されています。評価方法は、the Global Reporting Initiative, the United Nations Global Compact 及び ISO 26000 を含む国際的な CSR スタンダードに基づき、サプライチェーンの専門家の科学委員会によって監督された、信頼性の高い第三者である CSR の評価として保証されています。

パフォーマンスは4つのCSRをテーマに評価されます。全体的なスコアは、テーマ毎のスコアの加重平均となります。

Theme scores

			Weight
Environment	70	▲	4
Labor Practices	60	▲	4
Fair Business Practices	60	▲	1
Sustainable Procurement	60	→	1

Score distribution

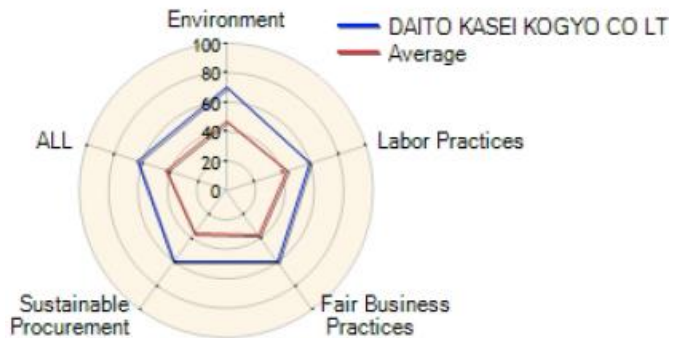


EcoVadis が評価した企業の平均スコアは 42.5 でした。

大東化成グループは 64 のスコアを得、平均を大幅に上回る結果となりました。

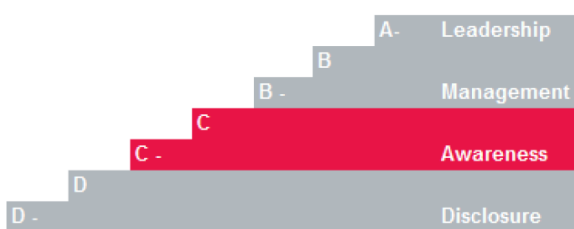
また私たちは、すべてのカテゴリーで EcoVadis が評価したサプライヤーのうち、上位 3% にランクされています。

これは、同じ業界で Ecovadis によって評価される全ての企業の平均と比較した、大東化成工業の位置づけを示しています。



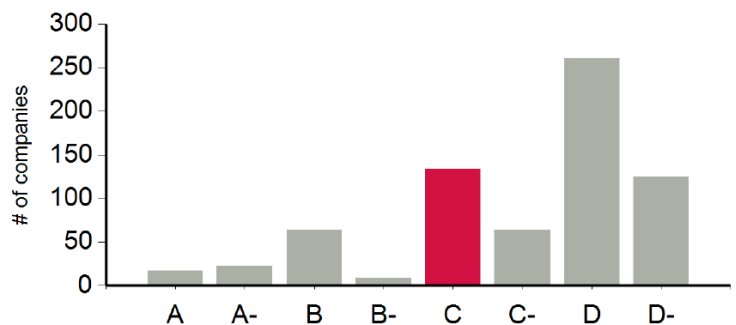
2016 Score
C

Score levels



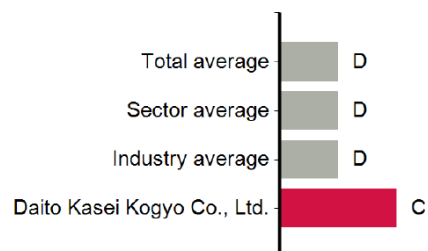
Score level
Awareness

Sector benchmark



CDP に対して 16%の企業が回答したスコアとして、私たちは C の評価を得ました。
(平均スコアは D)

Final score



3. ガバナンス & 倫理

3.1. CSR 委員会

昨年、私たちは CSR 委員会の構成を変更しました。委員会は、大東化成グループの各国 CSR コーディネーター及び財務責任者で構成されます。

委員会は、年に一度 Global Challenge Meeting 中に開催されています。

委員会の役割は次のとおりです；

- ▶ CSRの目標とターゲットを定義
- ▶ 行動の探求
- ▶ 行動計画実施へのフォローアップ

行動計画は、財務責任者によってそれを検証する代表取締役社長に提示されます。

3.2. 倫理綱領

私たちの行動は、世界人権宣言と国連グローバル・コンパクトに概説されている10の原則に基づく当社の倫理規定に基づいています。私たちは、人権、知的財産、労働条件、環境、そして保全という重要な要素を取り入れています。

3.3. 品質管理システム

大東化成工業の品質管理システムは、2014年2月以降ISO9001に認定されています。この世界的な認証システムに基づき、私たちは定期的なマネジメントレビュー、内部監査を実施し、信頼性と顧客満足度を高めるために、品質管理システムの維持・改善を継続的に実施しています。

3.4. 所属団体

私たちは、下記の組織に所属しています；

- ▶ 大阪商工会議所
- ▶ 社団法人大阪府工業協会
- ▶ 日本化粧品技術者会
- ▶ 西日本化粧品工業会
- ▶ EFfCI－欧州化粧品原料連合
- ▶ コスメティックバレー
- ▶ 大阪商工会議所によるCSR workshop
- ▶ 天満労働基準協会
- ▶ 一般財団法人 全国危険物安全協会
- ▶ 一般財団法人 全日本交通安全協会

3.5. ステークホルダー

私たちは、定時株主総会で株主の皆様当社の財務データを開示し、また定期的に株主の皆様からご意見を頂戴するため、すべてのステークホルダーの方に会社情報を開示しています。



CUSTOMERS

1. 企業理念

“Not BIG, Just the BEST”

私たちが目指しているのは“大きな会社”ではなく“最高の会社”です。

利益を得ることは大切ですが、利益は、どれだけたくさんのお客さまが「喜んでくれたか」の結果だと思います。私たちは、世界の仕組みを変えるような大きなことはできません。しかし、常に「本質は何か」「世の中の誰かに喜んでもらえるのか」を考え、行動に移すことはできます。

5年先、10年先の未来でも、国境を越えてお客さまから必要とされ、困った時に頼りにされる「最高の会社」になるのが、私たちの使命であり、夢です。

“See your need, Fill your need”

必要を探し、それを満たす。

私たちは、お客さまとの会話を、すべての始まりと考えています。そこには、たくさんの宝物が隠されています。一方、感度が低ければ、宝物には気がつきません。

だから、私たちは、感度を磨くための努力は惜しみません。

“We aim at 3S - SPEED, SIMPLE and SMILE”

良いときも、悪いときもありますが、今は、情報化の時代です。情報には、スピードが要求されます。

私たちは手広くやるのではなく、得意な分野に焦点を合わせ、組織を簡素化して、意思決定を早くし、スピード感あふれる会社～スペシャリストを目指しています。

私たちの目指すスペシャリストとは、複雑なことでも、単純明快～誰にでも理解できるよう簡潔に表現することができる集団・人と定義しています。

2. 製品の安全性

大東化成は、製品の安全性を保証する必要があります。私たちは、それらをテストし、それらの組成となっている成分の入手可能な情報を収集することにより、当社製品の安全性を評価します。

私たちのアプローチは；

- 毒性データベースの内部モニタリング（SCCS、CIR、TOXNET、OECD SIDS データベースなど）
- サプライヤーからの情報収集
- 毒性試験の委託（動物試験の代替法）
- 一般の人々の注目を浴びている成分のフォロー
- 適用される全ての規制に対する完全な尊重

3. 顧客満足度

私たちは 100%の顧客満足に取り組んでいます。私たちの目標は、顧客の要求を満たすか、または期待を上回る高品質の製品を開発、製造、提供することです。

The most frequently cited DAITO KASEI strengths by our clients



お客様からのご意見

「チームを代表して、大東化成との出会いに感謝したいと思います。本当に興味深く、刺激的でした。素晴らしい経験と暖かい歓迎にお礼申し上げます」 — イタリアのお客様

「大東化成は、私たちにとってイノベーションの代名詞です」 — 日本のお客様

「時が経つにつれて、なぜ私たちの原料担当部門が大東化成をナンバーワンのサプライヤーとみなしているかを話し合うこと、そしてその理由が正当であると認識することが増えています」

— フランスのお客様

「私たちは大東化成の製品をとっても愛しています」 — ブラジルのお客様

「私は大東処方ファンです」 — フランスのお客様



WORKPLACE

当社の従業員は、当社の継続的な成功に不可欠です。クライアントを満足させる当社の能力は従業員のウェルビーイングに左右されます。従業員の健康と安全は、グローバルビジネスに欠くことのできないものです。

1. 健康と安全

私たちの工場では危険物も取り扱っています。私たちは、技術的な安全対策、適切な保護（集団的および個別的な保護）、および入手可能な安全データシートを通じて、作業環境の安全を確保します。新しいプロセスを導入する前に、最初のステップは、使用されているプロセスと化学物質が従業員や環境にとって危険なものであるかどうかを判断し、従業員や環境が暴露されるリスクの程度を見積もることです。

職場での化学物質のリストを作成し、保管場所、数量等の情報を網羅します。

私たちは有害物質の暴露や取り扱う作業を可能な限り低レベルに抑制します。

2. 社員教育

ビジネスを新しく展開するために、私たちは従業員が自分のスキルを開発し、彼らが望む、価値あるキャリアを構築する機会を持つべきであると考えています。それは、従業員の全体的な能力レベルを上げることと、私たちの組織を強化するためのキーポイントになると考えています。

私たちは、従業員にキャリア開発や、自身の能力を向上させることを奨励しています。

3. 福利厚生

従業員が健康を維持し、健康増進を行っていることは、私たちにとって非常に重要です。

私たちは、職場における福利厚生の充実が、会社の成功のためには欠かすことのできないものだと考えています。仕事と個人の生活のバランスが良いことは、仕事におけるウェルビーイングに重大な影響を与えます。

大阪本社にある屋上菜園は、従業員のために解放されています。

日本では、スキー部や園芸部などのクラブ活動を行っています。

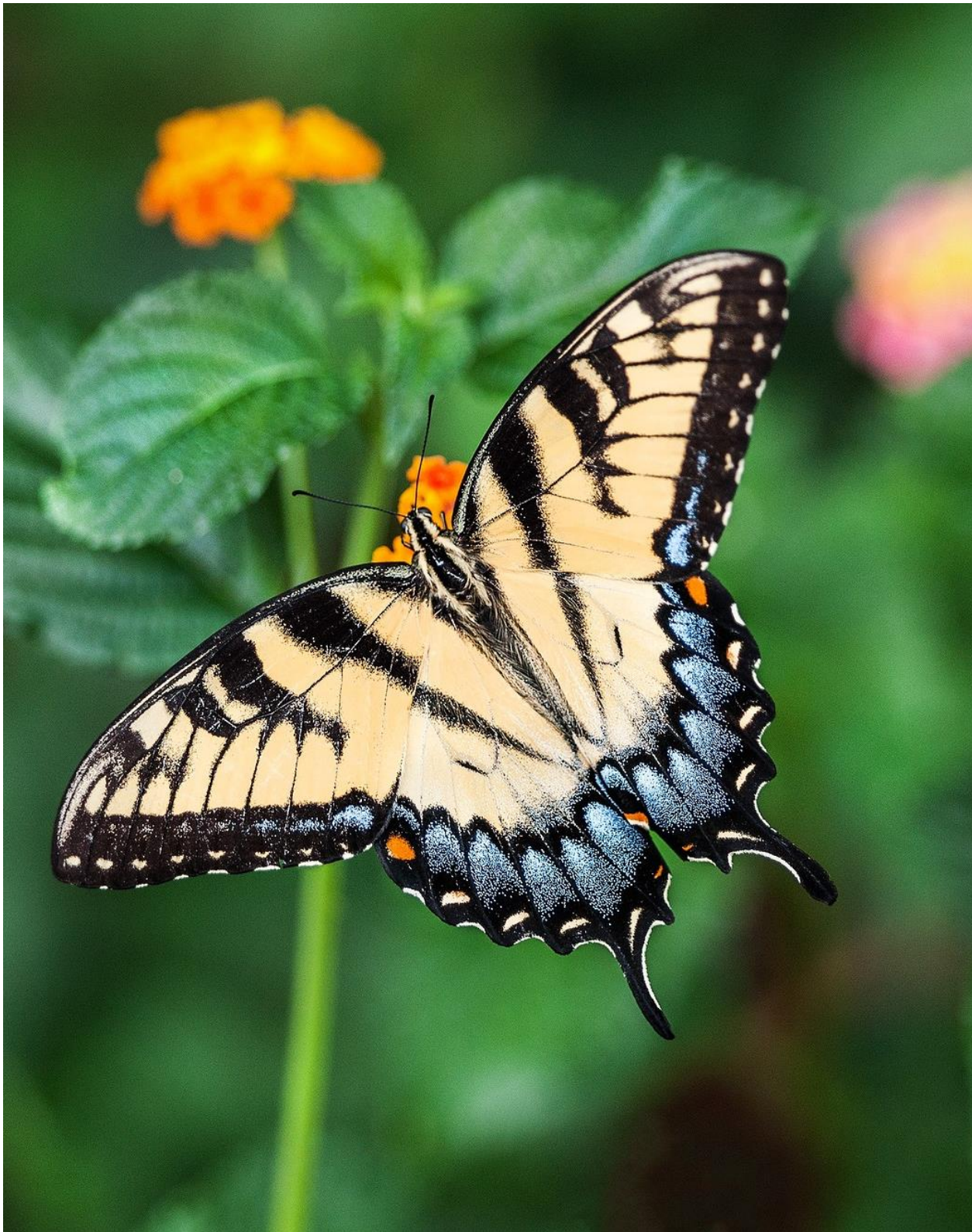


スキー部



味噌作り

私たちは、素晴らしい瞬間を共有したいと思っています。

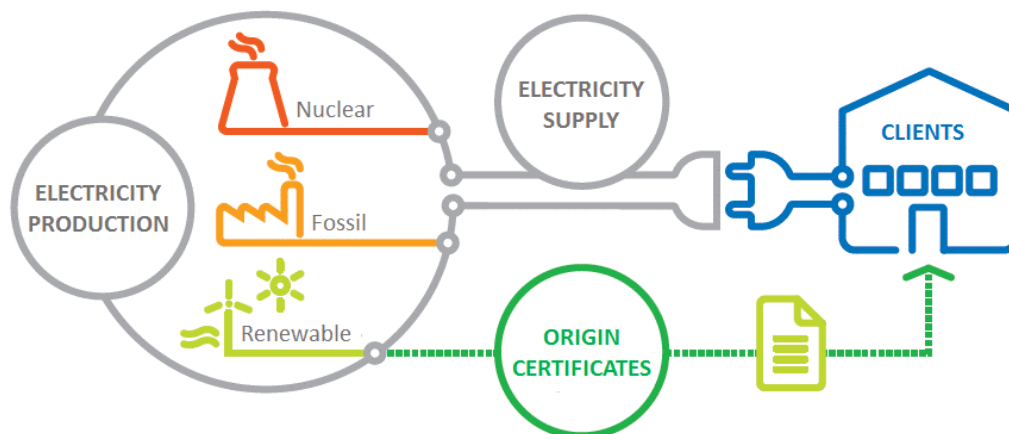


ENVIRONMENT

1. 環境負荷の軽減

1.1. 100%再生可能電力

私たちのフランスの事業所は 100%再生可能エネルギー関税を受けています。それは、私たちが消費する電力のすべてが、エネルギー供給業者による再生可能な電力として購入していることを意味します。再生不可能な電力と再生可能な電力は、送電網で混在しておらず、私たちが毎年使用している電力量は、その全てがグリーンエネルギーの開発を促進し支援することを示しています。



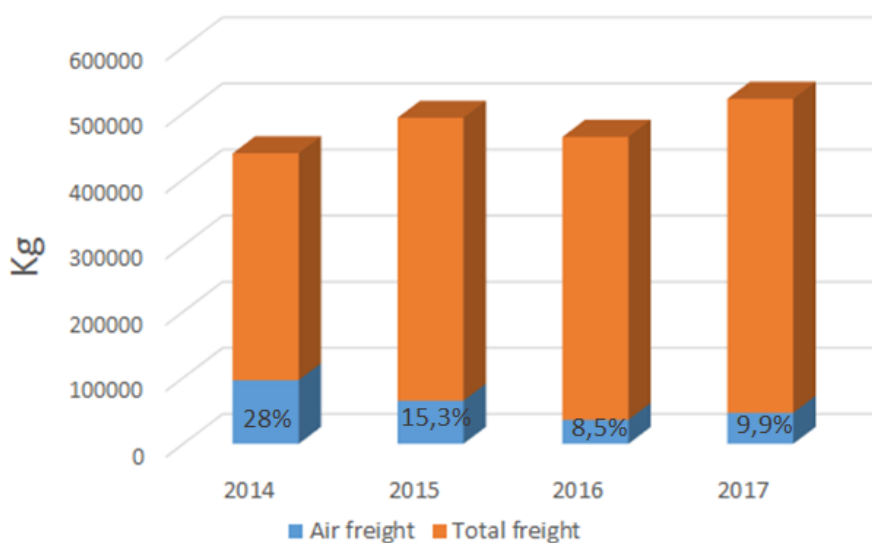
Principle of renewable energy tariff (source: EDF)

1.2. サプライチェーンマネジメント

私たちの製品は主に日本で製造されており、海外市場の拡大に伴って、輸送部門は、温室効果ガスの排出源として懸念すべき材料となっています。

ヨーロッパでは、輸送手段を持続可能な開発戦略の重要なパラメーターとして位置づけられています。その為、私たちは輸送による影響を減らすためにいくつかの措置を採択しました。

措置の 1 つは、航空便による輸入を最小限に抑えることです。2014 年と比較すると、フランスの日本から航空便による輸入量は 1/3 となりましたが、昨年と比較した場合、その巨大な市場需要のため量はわずかに増加しています。



1.3. 従業員の環境保全活動

各事業所の従業員は、定期的に事業所内外の清掃活動を行い、施設の美化に努めています。

2. 持続可能な原材料

私たちは、再生可能な原材料に基づく当社製品の割合を、可能で適切な場合はいつでも増やすよう努めています。私たちの目標は、品質・事業の良さを失うことなく、いくつかの合成製品に対して、可能な限り天然由来の代替品を提案することです。

2.1. 持続可能なパーム油

パーム油、及びパーム由来原料の化粧品における使用は過去数年にわたって議論されています。現在生産されている世界のパーム油のうち、**90%**がマレーシア・インドネシア産です。パーム農園をつくるための森林伐採により、現在マレーシア及びインドネシアの熱帯雨林が減少しています。

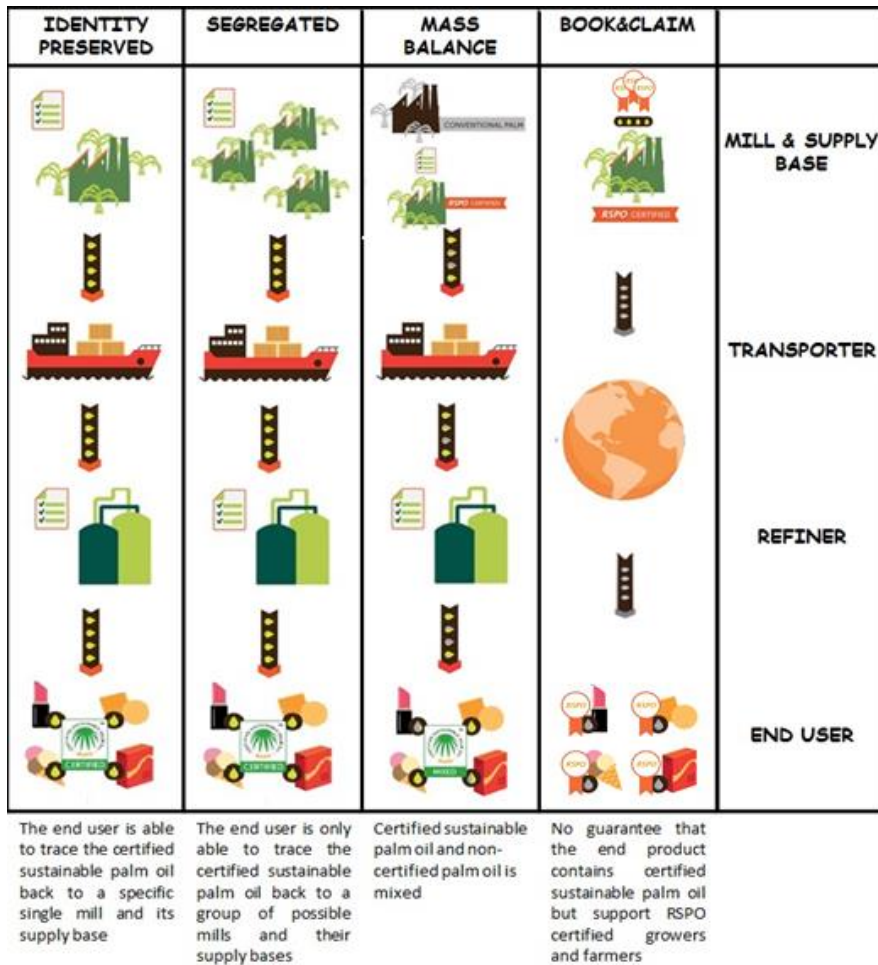
大東化成グループで使用されているいくつかの乳化剤は、パーム油から抽出されています。大東化成が使用しているパーム由来原料は、ほんのわずかです。しかし私たちは、その原料における分量がわずかであっても、責任ある使用者として、倫理的な購入の実践を経て問題に影響を与えることを認識すべきと考えています。私たちは、労働者や先住民の権利を尊重し、パーム由来原料を購入することによって、森林破壊を助長しないよう注意を払っています。

ラウンドサステイナブルパーム油（RSPO）は、異なるレベルのトレーサビリティ：アイデンティティプリザーブド、セグリゲーション、マスバランスと、ブック&クレーム（RSPO Credits）の4つのサプライチェーン認証システム（SCCS）を設立しました。

私たちのサプライチェーンは、従来のパーム油ユーザーよりも長くて複雑であり、現時点において、持続可能なパーム油をサポートする最良の解決策は、ブック&クレーム（RSPO Credits）を購入することです。**2016**年に購入されたパーム油由来原料は、ブック&クレーム証明書で網羅されています。

私たちはサプライヤーと協力して、既存の持続性のない物質を、持続可能なパーム油由来原料に置き換えるために尽力しています。

2016年の時点で、**2025**年に向けた私たちの目標は、持続可能なパーム油から得られた原料のみを供給することでした。私たちが今年経験した困難、持続可能なパーム油の世界的な需要増加を考えると、私たちの目標は野心的すぎるかもしれません。私たちは市場の状況に応じて調整していきたいと思いません。いずれにしても、当社の優先事項は持続可能な原材料を使用することです。



Supply chain model (Source: www.rspo.org)

2017年、大東化成はサプライチェーン・アソシエイトとしてRSPOメンバーになりました。2018年には、SG+MBモデルによるサプライチェーン認証を申請する予定です。

Key milestones

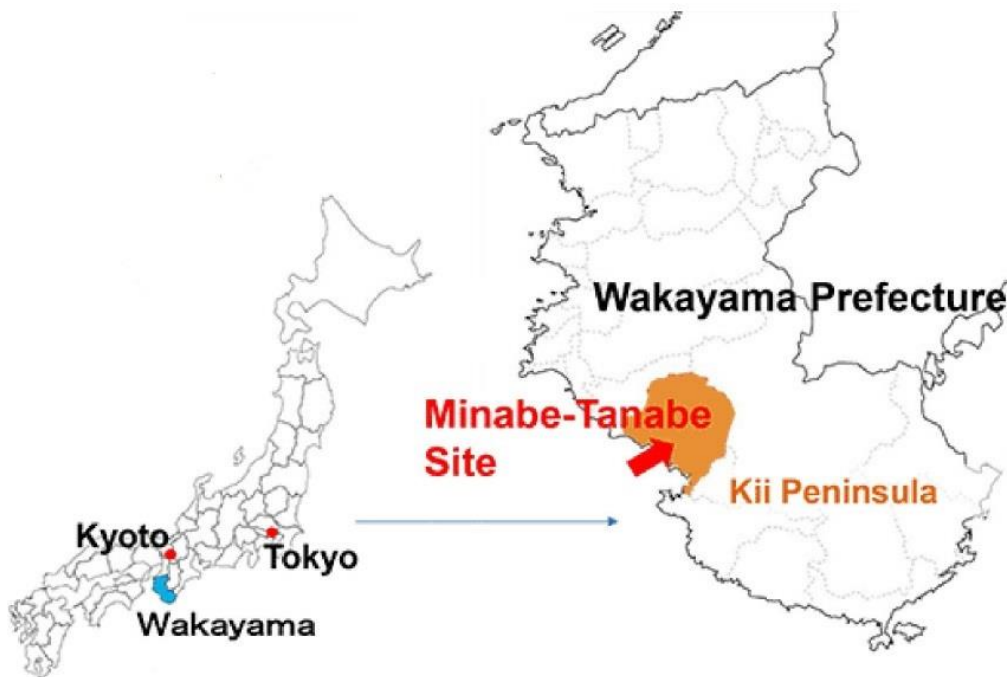


2.2. 備長炭: 持続可能な炭生産への支援、および伝統的な知識の保存



私たちの木炭は、みなべ・田辺地区で育つ非常に堅い木であるウバメガシ (Quercus Phillyraeoides) から作られています。

みなべ・田辺地区は和歌山県の紀伊半島南西部に位置しています。



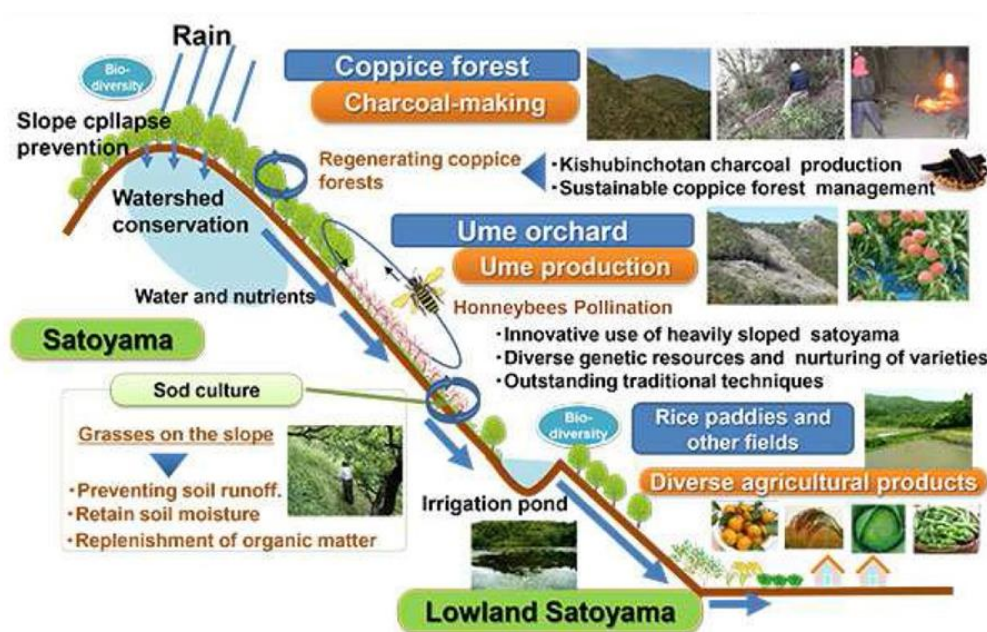
収穫方法

ウバメガシは、選択的伐採方法を用いて収穫されます。適切な厚さ（直径 7cm 以上）の樹木のみが伐採されるため、細い幹を持つ樹木が生育することが可能になるからです。伐採して使用されるのは、樹木の上の部分のみです。樫類は非常に生命力があり、伐採した後も根や茎が芽を出してきます。



ユニークな萌芽畑の森林管理技術により、ウバメガシの安定した供給が可能になります。選択的伐採方法は、生産性と持続可能性の両方において優れた技術です。なぜなら、10～15年で約1回の伐採を可能にするからです。対照的に、クリアカットは30～40年に1回しか実行できません。

みなべー田辺 エコシステム



栄養不良や水分保持能力の弱い崩壊した斜面にもかかわらず、高品質の梅を持続的に生産しています。山の頂上には、主にウバメガシからなる萌芽畑が植えられています。萌芽畑の役目は、下の斜面に位置する果樹園に少しずつ雨水が流れよう貯めることです。これらの萌芽畑は斜面が崩壊するのを防ぎます。萌芽畑下の斜面は梅の果樹園になっています。これらの斜面はよく排水されているため、梅の栽培に適しています。さらに必要な栄養素は、上の萌芽畑から少しずつ供給されます。梅の果樹園では、乾燥や土壌の流出を防ぐために、草が栽培されています。また、草木を切り、梅の木の肥料としても使用しています。周囲の蜜蜂は梅の木を受粉するのに役立ちます。梅の木は、他の花が咲いていない春の初めにミツバチの繁殖を助けます。

梅の果樹園と萌芽畑の土地利用は、独自の農業景観の形成に貢献しています。

このシステムは持続可能な農業の貴重なモデルとなり、地元の人々の生活を支えるシステムとして世界中に適用することができます。

FAO は、梅の生産システム全体を認識しています。

備長炭製造業者の役割

森林は生態系の安定にとって重要な要素です。森林は伝統的な選択的伐採によって維持され、保護されています。いわば備長炭メーカーは、この生態系の「世話人」です。

生物多様性と地域景観保全

梅や備長炭の生産は、地元住民の生活を支える重要な産業です。地元の労働者の 70%が梅の生産に従事しています。梅の摂取量の減少、備長炭の需要の減少、労働者の高齢化、農家の減少は、梅の生産システムにとってその存続に深刻なリスクとなります。

和歌山県では梅と備長炭の生産を推奨しています。

2017 年、大東化成は和歌山県の『企業の森』活動に参加することに致しました。

その協定調印式は 2017 年 12 月 14 日に行われています。



和歌山県のプログラムの目的は次のとおりです:

- 伝統的な知識保存の促進
- 地域価値の創造
- 森林の保全を通じて環境を守る

備長炭は、高度に訓練された職人によって作られています。紀州備長炭作る基礎は 1 年ほどで学ぶことができますが、高品質の炭を得るために必要な知識を得ることは、それが習熟するまでに数年かかります。

大東化成は、何世紀にもわたる伝統的なプロセスにしたがって製造された、紀州備長炭を原料とするチャコールパウダーを使用した製品を生産することで、持続可能な炭の生産を支援しています。

私たちは協力して、和歌山県にある 5 社の企業グループと協力し、持続可能な炭生産サイクルを実現しています。

2.3. 有機認証商品

ECOCERT には 60 製品、COSMOS には 28 製品が認定されています。2010 年以降、認定商品数は 3 倍となりました。



COMMUNITY

1. 私たちの走る意味



DAITO KASEI EUROPE の有志で、第 2 回「Lisa forever」のレースに参加しました。その目的は、小児脳腫瘍と戦うための資金を調達することです。このレースはフランス・Taverny で開催されました。

2. 連帯の日



DAITO KASEI EUROPE は、ELA 財団が主催した連帯の日「会社にあなたの靴を入れなさい」に参加しました。その目的は、白質萎縮症と戦うための資金を調達することです。連帯の日は、内部の結束とこの病気に警戒する独創的な方法を作り出す機会になります。コンセプトは簡単です：従業員はいくつかのステップを踏む必要がありますが、就業日を変更する必要がありません。各ステップについて、参加企業は ELA に 0.1 ユーロを支払うことを約束します。

3. 連帯活動



DAITO KASEI EUROPE は、「Samu social de Paris」のための協同組合および参加協会の「パーソナルケアとクリーニング」製品の収集に参加しました。2 人の従業員は「Samu social」の物流拠点に行き、製品を分類し、「Samu social」の行動を体験するために半日を過ごしました。

4. 共同購入



DAITO KASEI EUROPE では、新年の祈願として、伝統的なカードグリーティングを世界の木を植えることに結びつけました。

私たちのお客様は、私たちのこの活動により Reforest'action のデジタルプラットフォームを通じて植樹をすることができます。

この活動における利点:



Environment

150 000km of car offsetted



Biodiversity

450 animal shelters created



Health

600 months of oxygen generated



Employment

150 hours of work created

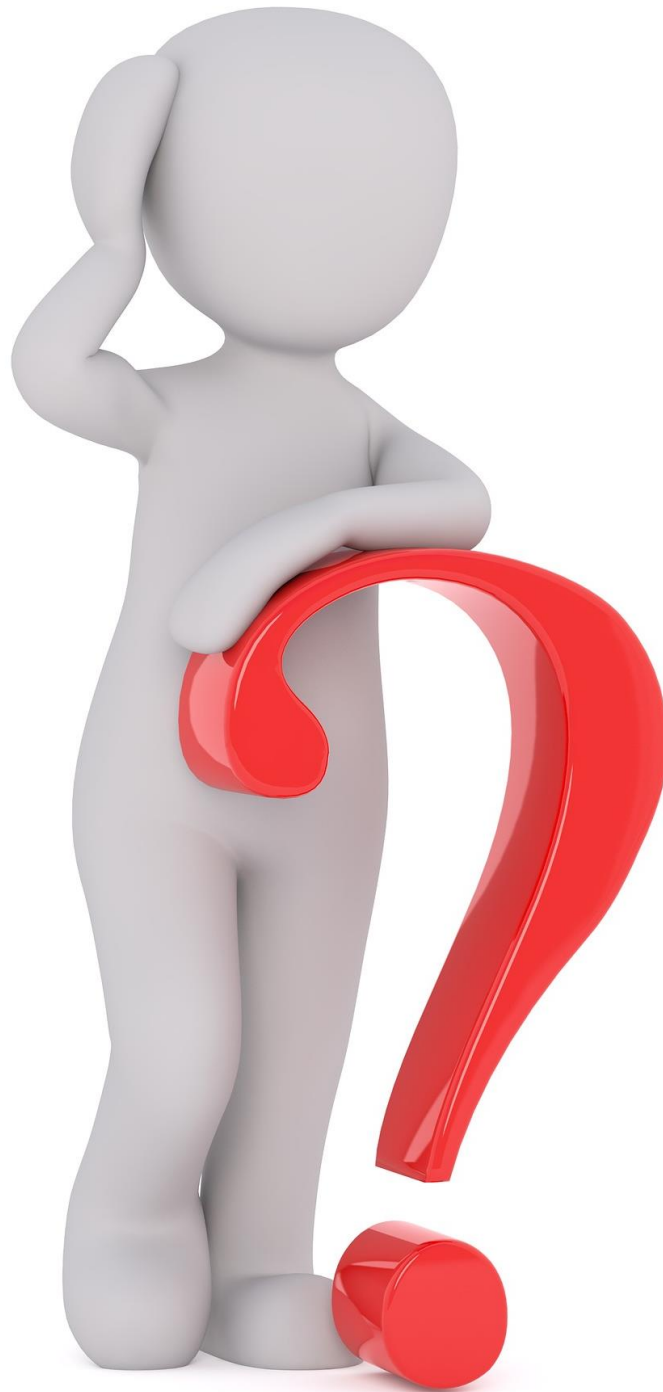
5. 寄付

私たちは、健康や教育分野の非営利団体などに寄付を行っています。

2017年、私たちはクラランスの関節炎基金のクラウドファンディングに参加しました。

また日本では毎年、赤い羽根とも呼ばれる中央共同募金会に寄付を行っています。

赤い羽根は、歴史的にも社会問題を解決するリーダー的団体として知られています。

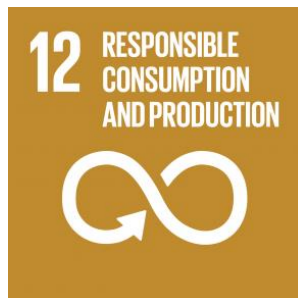


ACTION PLAN 2018



有害物質の使用を制限することにより、安全な作業環境を確保し続けます。有害物質のない製品の開発を継続します。

社員の健康は私たちが成功するための基礎となるものです。社員自身が健康的なライフスタイルを意識するように、私たちは働きかけていきます。



私たちは引き続き、より合理的な天然資源の使用を促進し、有害な排出と廃棄物を最小限に抑えるようにします。



欧州では、引き続き輸送に伴う CO2 排出量を削減できるよう尽力していきます。



企業の森活動を通して、私たちは6,000本の木を日本・和歌山県にて植樹し、森林保全活動を支援します。

